2024年度統計・データサイエンス力向上のための授業に係る
優秀事例表彰実施要領

１．背景

DX化などデジタル社会の到来に合わせて、国民全体に広く統計・データサイエンスの基礎的な知識と活用力が求められてきています。このような背景の中、学習指導要領の改訂並びに大学におけるモデルカリキュラムの整備及び教育プログラムの認証制度を通して、初等中等教育から大学等高等教育まで、統計・データサイエンス教育の重点化が行われています。

しかしながら、この分野は授業実践事例が少ない新しい領域であり、教育の実効性を高めるため、優秀な授業実践事例を教育の現場で広く普及させることが、この領域の人材育成に向けての喫緊の課題となっています。

２．目的

本表彰事業は、特に、初等中等教育の現場において、統計・データサイエンス力の向上を図る先導的で優秀な授業実践事例を表彰することにより、児童・生徒の統計・データサイエンス力の向上を図る授業の展開・普及に資することを目的としています。

３．対象範囲

本事業の表彰の対象は、日本国内の初等中等教育の現場において、統計・データサイエンス力の向上を図る授業に実践的に取り組んでいる教員等個人（教員以外の方も含む。）又はグループによる、授業実践事例を対象とします。

４．表彰

以下の３部門において、それぞれ、最優秀授業実践事例１点、優秀授業実践事例２点を選考の上、表彰します。

・小学校部門
・中学校部門
・高等学校部門

最優秀授業実践事例には、賞状、副賞（図書券８万円分）を授与し、優秀授業実践事例には賞状、副賞（図書券３万円分）を授与します。

審査の最終結果は、2025年３月中旬ごろ、選考された個人又はグループの代表に、事務局より連絡をさせていただきます。また、2025年度統計関連学会連合大会（2025年９月予定）において、事例発表をしていただくことも予定しています。

５．応募方法

①当財団所定の申請書（以下の URL からダウンロードできます。）に必要事項をご記入の上 PDF 化したもの、②（必須ではありません。任意です。）当該授業実践事例に関する簡単な資料（例えば、授業実践事例が分かる進行スライドなど）を PDF 化したもの、を合わせて ZIP ファイル（応募者又はグループ代表のローマ字氏名をファイル名とする。）として圧縮し、下記の応募期間内に、「７．問い合わせ先、申請書提出先」まで e-mail に添付して送付して下さい。

○応募期間　2024 年 10 月 1 日（火）～2024 年 1 月 6 日（月）17：00 必着

○申請書ダウンロード https://www.sinfonica.or.jp/assist3/support/school.html

６．選考方法

応募された申請書及び資料に基づき、優秀事例選考委員会による審査を行います。選考に当たっては、学習指導要領、数理・データサイエンス・AI モデルカリキュラム等に応じた、普及展開可能な授業実践事例であるかどうかを総合的に勘案して審査します。

○優秀事例選考委員会（敬称略）

委員長　渡辺　美智子（立正大学データサイエンス学部教授）
委　員　石井　裕基　（東北大学高度教養教育・学生支援機構特任教授）
　　川崎　能典　（(一社) 日本統計学会理事長）
　　栗木　哲　（統計数理研究所統計思考院院長）
　　小林　廉　（国立教育政策研究所教育課程調査官）
　　駒形　健一　（(公財) 統計情報研究開発センター理事長）
　　佐藤　寿仁　（岩手大学教育学部准教授）
　　竹内　光悦　（実践女子大学人間社会学部教授）
　　橋本　進　（全国統計教育研究協議会副会長）
　　深澤　弘美　（東京医療保健大学医療保健学部教授）

（委員は五十音順）

７．申請書提出先、問い合わせ先

公益財団法人 統計情報研究開発センター
「統計・データサイエンス力向上のための授業に係る優秀事例表彰」事務局

メールアドレス：webmaster(at)sinfonica.or.jp
※ (at)は＠に置き換えて下さい。
TEL：03-3234-7471

８．主催・後援

主催：公益財団法人統計情報研究開発センター

後援：文部科学省
統計数理研究所
一般社団法人日本統計学会
全国統計教育研究協議会

注意事項：

・授業実践事例の申請書又は資料に、新聞紙面、出版物を図版として掲載する場合には、出典を明確にして下さい。
・最優秀及び優秀授業実践事例は、個人情報保護に配慮し、再編集した上で当財団の HP で紹介させていただきますので、ご了承下さい。
・選考委員については、変更される場合があります。